

北区会 自由な趣味の会

第十八回「書道の会」活動記録

2020年 1月 20日(月)

1. 年月日、天候、活動人員、時間等

2020年1月20日(月)	天候	気温(°C)		活動人員 (午前)
		最高	最低	
	晴	12	4	7人

2. 本日の参加者と場所と時間

時 間	場 所	参 加 者
9時半～12時	KSC G7教室	講師藤澤淑子: 庶務土井、長谷川、鬼村、佐伯、道満、山崎、青木

はじめの会

藤澤講師

楷書求められるのは書線の適確さである。一字の中の各線の太さ・長さ・角度が正確に書けるように

* 藤澤講師が課題書「善意」以外に自身の作品を含め会員の作品を順次添削をして頂く。

今月のテーマ書

講師 添削中

端 雪

「始見 青雲 十律呂、 俄逢端雪 一 応陽春」



・各自が5月 発表会用「書」の練習



2、活動概要

本日活動写真は無。

下記、写真作品: 藤澤講師が作品添削の事例で、これこそ 赤のムチ(愛)を受け今後の試練事例。

下記 本月課題文字、行者添削有一楷書無

感謝 歓喜 全て添削!



行書 2点右名前下「書」添削—「月」添削



花・竹・秀



全て添削—書直し

3、一度読んでください! 手習: 基本用筆の練習は...まずは楷書を徹底マスターしましょう。
造形の基本: 水平・垂直・平行・等間隔・等分割・均衡・中心線一貫の七つを配慮しながら書くと美しい文字になる。

草書について

草書の「草」は草稿の「草」である。また「草」には「下書き」という意味もある(例:起草)。「ぞんざい」の意味もある。速く書くことができるように、同じく漢字の筆書体である行書とは異なり、字画の省略が大きく行われる。文字ごとに決まった独特の省略をするため、文字ごとの形を覚えなければ書くことも読むこともできないことが多い。実際は隷書の時代からあったが、一般に使われたのはそれから数百年の月日が過ぎてからである。また、書家による違いが大きい場合もあり、例えば「書」という字は楷書体では1通りの書き方であるのに対し、草書体は幾通りかの書き方がある。

行書について、宋の蘇東坡は「楷書は直立のごとく、行書は歩みのごとく、草書は走るのごとく」と言っています。行書は楷書と草書の間にある書体で読みやすく書きやすいのもっとも実用的な書体と言える。楷書で多くの字を速書する場合、行書の書ぶりが交わる事がある。これを楷行体」と称し草書の中へ行書を交わる場合「行草体」と称することがある。、川邊尚風一著。

申し合わせ及び注意事項

- 1) 欠席者は事前に幹事「土井」へ連絡する
- 2) 諸道具は自身で持参、その服装などの準備もお願いします
- 3) 一回400円の諸費を参加出席者をお願いします。

本日のよもやま話し

7人の出席、何となく参加者が固定され、多くの参加者を招聘したい。それにはメンバーが頑張り継続頂き見て頂く活動にしたい。

3、次回参加者と場所と時間 宿題など

月 日 時間	場 所	参 加 者(予定)
令和貳年 2月 10 日(月) 9時~12時	G1学習室	講師藤澤: 庶務土井 、佐伯、鬼村、長谷川、道満、山崎、青木、平井、敬称略9名

展示作品の選別、とルーティングの書=藤澤講師の提供書を練習する。